

## 飯館村見学に対する感想

10月5－6日にかけて参加した飯館村見学  
難しいことはよくわからないので、私自身感じたことをいくつか書きます。

まずは飯館村へ入る時に1枚



震災後毎日のようにニュースでとりあげられていた「飯館村」相当荒廃した状態を想像していたのですが、実際は緑豊かなごく普通の山村でした。見た目では原発事故の被害を受けているとはわからないほど

その後、村内を見学したのですが、



上写真のような計測器が至る所に設置されているのは、やはり不気味な光景でした。

元々この村に住んでいた方達には、放射線に関する知識など何もなかったでしょう。いきなりこんな大それた機械が現れて、さぞや不安だっただろうと思います。

そして、研究に必要な作物を育てていただいている方の元へ



イネや



サツマイモもありました。

ここでは「福島再生の会」の皆様から、

福島の現状・活動内容など

たくさんのお話を伺いました。

ここで思ったこと

まず、今回お会いした「福島再生の会」の方々は

元エンジニア・元会社マンなど

ほとんどの方が、

福島の現状を知って、何かしなければならぬと考え立ち上がった方々でした。

それでは、元々飯館村に住み農業を営んでいた方々はどのようにしているのでしょうか？

もちろん、生きていくには仕事をしなければなりませんから

きっと、どこか他の場所で働いていらっしゃるのでしょう。

しかし、ならばこの「飯館村」の再生活動は誰の為に行われているのか？

正直言って、私には再生の必要性がそんなに感じられませんでした。

何故なら、心から再生を望んでいるはずの飯館村民自身の声あまり聞こえなかったから。

恐らく、私が無知なだけで、再生活動をしている村民の方々はいらっしゃるのでしょう。

ただ、本当に再生を望むのなら、もっと村民一丸となって積極的に活動し世間にアピールしないと、原発事故の被害者という立場で他の者の助けを待っているだけではいつまでたっても埒が明かないのではないかと思います。

次に、今回伺ったお話の中には  
政府やボランティアの方に対する不満などが多く含まれていました。  
その中で私が疑問に思ったのは  
震災直後に、飯館村の放射線濃度は健康に問題ない、と言った医者に対する不満です。  
その診察の次の日に国から自主避難の指示が出たということで、  
結果としてその医者の言ったことは間違いということになったのですが、  
私はこの医者をいつまでも責めるべきではないと思います。  
今までにない緊急事態時に、好きで嘘をつく人はいないでしょう。  
大体、今でも放射線に対する健康被害がどのようなものか、解明されている訳ではないの  
です。医者一人が正しい答えを知っているはずがありません。  
もしかしたらその方は、村民の方々が混乱するのを避けるために、問題ないと言ったのか  
もしれない。  
この医者を責め続けるのは、あまりに気の毒だと思います。

ちなみに、飯館村には



こんなネコさんや



こんなイノシシ家族

そしてサルの子もいました。

私はこの旅程の中で

これらの動物たちを見た時、「飯館村」再生の必要性を最も強く感じました。